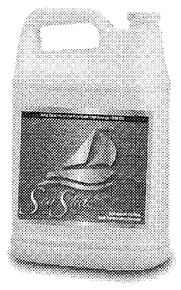
簡単塗工でスピードを創る！

日本初上陸

親水性潤滑塗料
シースライド
米・ハイドロマー社製「Sea-Slide」

◇親水性だから人にも環境にも優しく、簡単に塗工ができる
◇優れた潤滑力で燃費・スピードを向上させる
◇持続性が高く、メンテナンスコストを低減
（海水に4ヵ月浸っていても、魚貝類の付着を防ぐので船底に最適）



Hydromer

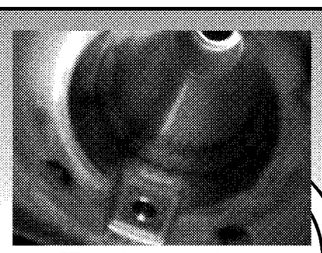
人とつながるソリューション　～We find the best solution for you～
山口産業株式会社（担当：山口・灘井）
〒540-0004 大阪市中央区玉造1-20-10 森ノ宮山口ビル TEL.06-6768-0800 FAX.06-6768-0750
E-mail:yamaguchi@yamatech.jp URL:www.yamatech.jp

*「シースライド」は、米ハイドロマー社製の商標または商標登録です。
同社は医療用カテーテルの表面の潤滑性向上などの技術で実績を有する親水性コーティングの専門メーカーです。

工作機械の主軸テーパー穴修正研磨

向井　セルフ研磨　検索

～全国出張修理いたします～　タイ（東南アジア）でも実施中です



研磨前のテーパー穴

研磨後のテーパー穴

こんなお悩みありませんか？
- 工具が振れて径補正が安定しない
- ボーリング加工時に、仕上げ面にビビりが生じる
- チップの寿命が短い
- 夜間自動運転中にワークに工具をぶつけた
- 主軸分解修理でラインを止めたくない

修正研磨でお悩み解決！
- 機械の分解組立不要
- 作業が短時間
- 費用も格段に安い
- 高品質研磨

株式会社　向井製作所
代表取締役社長　向　井　裕　一
〒731-3362 広島県広島市安佐北区安佐町久地519-2 TEL（082）837-1600 FAX（082）837-3200
http://www.seruken-mukai.com/　Email:info@seruken-mukai.com

機械を身近に感じるきっかけに

8月7日は「機械の日」

8月7日は機械を身近に感じよう―。日本機械学会は技術の上達を祈る中国の古くからの行事に関連して、一カ月遅れの七夕である7日を国民的な記念日に制定している。また、この日を最終日とする1日から7日の1週間を「機械週間（メカウイーク）」に決定。期間中は各地でイベントを開き、機械に触れ合いその役割を身近に感じる契機にしている。7日には日本学士院（東京都台東区）で記念行事を開催。恒例となった「機械遺産」認定式や記念講演などを行う。機械のこれまでと未来に思いをはせ、技術や産業のさらなる発展につなげる。

「機械遺産」新たに5件

機械の日は「『機械』の意義や役割を広く社会とともに考え、人間と機械のふさわしい関係を模索する」目的で、2006年に制定された。これまで、文明は道具や機械を作ることで発達してきた。特に18世紀の産業革命は人類に産業構造の転換や飛躍的な技術の発展、多大な利便性をもたらした。一方でこれらの進歩は大量生産・消費の社会をもたらし、環境問題や資源エネルギーの枯渇といった課題を生み出したことも事実だ。

そこで長年、機械に携わってきた技術者・研究者の集団である日本機械学会は、機械技術をどのように役立てて持続的な社会システムを構築するかを今後の焦点に設定。技術者の役割を浮き彫りにし、社会の周知を図るべく記念日を設けた。

8月7日は月遅れの七夕だ。七夕は技巧の上達を願う中国の古くからの行事「乞巧奠（きこうでん）」に由来するとされており、長い歴史の中でも機械とのつながりが深い。また織り姫が布を織る機械である「機（はた）」を使って仕事をしていたことなども考慮して、記念日をこの日に設定した。人々に親しみやすい日を選ぶことで、若年層の理工系離れや技術離れの回避や女性技術者の活躍、次世代技術者の育成といった広い分野での活動を目指している。

機械の日と機械週間に合わせて開かれる数々の催しは、技術者はもちろん、普段は機械を意識せずに過ごしている人たちが機械技術に触れあうチャンスだ。その代表例として、今年は技術の変遷をより身近で感じられるよう、07年から認定を始めた「機械遺産」の実物展示を行う。機械遺産は日本機械学会の創立110周年の記念行事として始められた。以来、毎年認定を続け、昨年度までに計50件を認定した。今年度は、ステンレス鋼製車両群（東急5200系と7000系）、吉野山ロープウェイ、池貝工場製第1号旋盤、卓上複写機リコピー101、ウォシュレットGの計5件を認定。記念行事で認定式を行う。

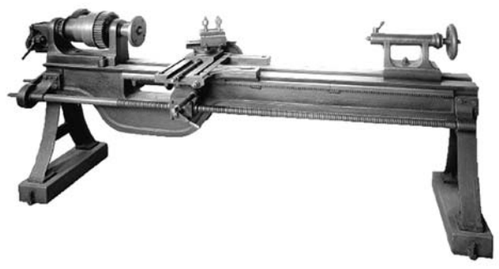
「日本の先端科学技術の紹介」と題した展示会は国立科学博物館（東京都台東区）で13日まで開かれ、1947年に完成した「たま電気自動車」や、1971年に開発され日本の民間航空エンジンの礎となった「民間航空機用FJR710ジェットエンジン」などの実物が展示される。

このイベントでは機械技術を年代別に並べてあり、装置や社会の移り変わりを実感できる。最先端のコーナーには昨年度の学会賞に選ばれた技術、計13件を紹介。子ども向けに分かりやすく解説したパネルや、実際に技術を体験できる展示も一部で用意する。記念行事の懇親会後には、これらの展示を巡る「ナイトミュージアム」の開催が予定されている。

また昨年から始めた、幼児から高校生までを対象にした絵画コンテストも引き続き実施。「夢の機械・キカイ、未来の機械・キカイ」をテーマに、前回のおよそ1・5倍となる計53人の応募者の中から4件を優秀賞に選んだ。受賞作品は①地震や台風、津波などの災害を強い風で吹き飛ばせる「じしんとばしき　ましほごうA」②世界のゴミを食べてエネルギーにして野菜を作る「いっしょにくらそう」③ガレキやゴミを原料に防波堤などを造るロボットと、ゴミなどからエネルギーを作って放射線のある場所で人を助けるロボットがつながった「ガレキでバイオマス発電リサイクルマシーン」④太陽光発電で動き、ゴミを宇宙まで飛ばして大気圏で燃やしてしまう「ゴミを空高くとばしてもやしつくす530（ゴミゼロ）号」の4件。

自由な発想にあふれた作品が集まったが、総じて環境やエネルギーといった社会問題の解決をテーマとした応募が大半を占めた。中でも東日本大震災や、東京電力福島第一原子力発電所の事故に影響を受けたと見られる作品が多いのが印象的だ。このような作品を見ることは、今の技術者がどんな未来を残していくべきかを考えるきっかけになりそうだ。震災後の社会については今日開催の記念行事でも地球環境産業技術研究機構の茅陽一氏や東京工業大学の柏木孝夫氏を迎え、記念講演および「東日本大震災を踏まえたエネルギーの現状と今後の展望」と題したパネルディスカッションを実施し、技術のあり方について議論する。

機械週間中は全国の支部が中心となって、計150以上の市民向けイベントが実施される。また女性会員で構成する組織「LAJ」は、女性の就職先として機械工学を選択肢の一つに入れてもらおうと、年間を通して中高生向けの出前授業を続ける。9月に金沢市で開かれる学会の年次大会でも震災をテーマにした市民フォーラムや、社会で活躍する理系女子（リケジョ）が仕事や家庭などについて話す企画を行い、学会の各機関が機械や技術に対する理解を広めようと連携する。こういった地道な活動を、未来の人材の育成や技術と社会の発展につなげていく。



「機械遺産」認定の池貝工場製第1号旋盤

「機械の日」のロゴマークは、印鑑に使われる中国の豪書体をベースに、「機」を象形文字風にデザインした。外形を円にすることで「日」を表している。

機械の日を迎えるにあたって

開発への熱き思いを繋げて

日本機械学会会長
（東京大学教授）
金子　成彦

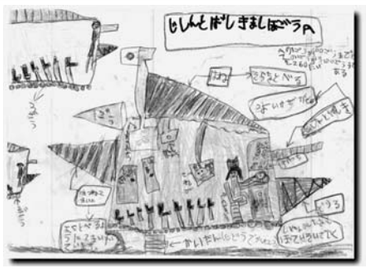
日本は災害からの復興、エネルギー問題、急速に進む高齢化や少子化など、さまざまな課題に直面していますが、重要課題の一つに「技術伝承」が挙げられます。日本が得意としてきた「ものづくり」は「誰かを喜ばせること」「感動を与えること」にゴールを置いてきました。伝承すべき技術の中身も大事ですが、機械の開発に携わってこられた方々のモチベーションを理解し、その熱き思いをリレーのバトンのように繋げていくことこそ大切です。ぜひ、選ばれた機械遺産をご覧いただき、開発担当者の苦労談を聞くことによって「感動の絆」をお持ち帰り下さい。

最近、日本は要素技術は強いが時代のニーズに対応したシステムを生み出すことができていないと言われています。現代の日本人は利便性を享受することに慣れすぎてしまい、機械の中に織り込まれた開発者の創意工夫やこまやかな心遣いを感じる機会が減っているのではないでしょうか。もっと身の回りの機械や機械システムについて仕組みを理解し、その中で使われている原理や法則について理解を深めることに関心を向けていただきたい。

仕組みが分かったなら、次は作ることに関心を向けていただきたい。どのような材料が使われ、どのような方法で作られているのか、また、使い勝手、メンテナンスや省エネ、環境、安全性への配慮がどの程度されているのかに思いを馳せることによって、機械に対する見方が変わってきます。「機械の日」を機械に対する多面的理解の契機としていただければ幸いです。

2012年度『機械の日・機械週間』絵画コンテスト優秀賞作品

横浜市立緑園東小学校3年　下茂（しも）　海翔（かいと）さん
ガレキでバイオマス発電リサイクルマシーン



大津市立膳所幼稚園年長　清水　真志歩（ましほ）さん
じしんとばしき　ましほごうA

我孫子市立高野山小学校4年　福田　大朗さん
ゴミを空高くとばしてもやしつくす530（ゴミゼロ）号

台東区立大正幼稚園年長　大東　龍ノ介さん
いっしょにくらそう

身近に寄り添う『絆』テント
好きな場所へ移動する倉庫
おかげさまで大好評!!

（見本サイズ）脚部折畳み型：幅10m×奥行10m×高さ4～5m（有効）

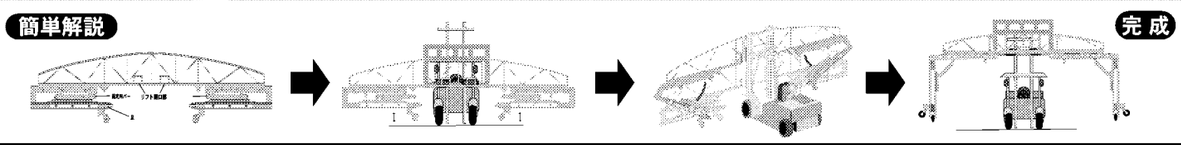
寸法可変タイプ
守くん MAMORU-KUN
利便性を追求した 伸縮型大型テント
●荷物の一時保管　●雨天の作業スペースの確保
●車両の保管にも効果的　●災害時の緊急避難用テントとして
リースも承ります

寸法可変タイプ
移動性能、伸縮性能がさらにアップ！　移動・組立が簡単
進くん SUSUMU-KUN
●道路工事などに適した新しいテント！
●セメント工事、アスファルト敷設に必要な日よけ、雨よけに最適！
●どんなに遠い現場でも、欲しい時、欲しい空間を作る夢のテントです！
特許第4962890号　※ついに特許を取得しました!!（前田道路株式会社と共同）

特長
- 道路の幅に合わせて間口変更が可能。
- 脚が折りたたみ可能、収納時の安定性が更に向上。
- 雨、風、直射日光から道路を守る。
- 機材の保管に最適。
- オプションとして横幕も設置可能。

進化した特長
●設営も折りたたみもリフト一台でラクラク。トラックに積んでの長距離移動が可能に。
●間口は最大11mまで伸縮自在。
●ジャバラ構造で使用面積も自由自在！
高さ2.7m、奥行12m、間口は最大8.5m～12m

簡単解説　完成



いつもお客様の近くに
アメリカンテント株式会社
<本　社> 〒578-0901 大阪府東大阪市加納5丁目17-31 TEL(072)873-1587
<九州営業所> 〒882-0856 宮崎県延岡市出北2-28-3 TEL・FAX(0982)34-0460
資料請求・お問合せは　☎(072)873-1587　FAX 072-875-3064 mail:info@ameten.com
アメリカンテント　ウェブ検索　http://www.ameten.com
ローン可　左記までお気軽にお問合せください。